

食品化学新聞

キミカ

混合・包装設備を増設

多様化するニーズに柔軟対応

キミカは、多様化するアルギン酸類の海外市場の大型受注を受け、千葉プラント(富津市大船)の粉末ブレンド・包装設備を増設し、9日より稼働を開始する。最新設備の導入により、オペレーションの合理化および現場作業者の労働力の軽減を実現する。作業環境が大幅に改善され、国内外

のさまざまなニーズに即時対応できる生産体制を整えるとともに、高度な品質保証体制を整えている。

キミカ千葉プラントは従来、アルギン酸・アルギン酸塩類・アルギン酸エステルやその他製剤類を中心に取り扱い、国内市場では少量多品種を主に対応を行って

いた。しかし、海外市場では単一品種ごとに大きなロットでの供給が求められる傾向が強い。同社は今回、こうしたユーザーニーズの多様化に対応できる最終製品のブレンド・包装設備の増設を行った。同設備の生産能力は1時間当たり2000kg、1パッチ当たり最大3000kgの混合が可能で、粉末混合機などを投入し、大量受注への対応が可能とした。また、併せて食品安全と異物対策に向けた設備のリニューアルも行い、最新の品質要求への対応も可能とした。